			競技番号　　28･29	
第62回全国七大学総合体育大会				
競技要項				
競技名　　卓球				
			令和　　年　　月　　日	

1、大会名称	第62回全国七大学総合体育大会　　卓球の部
2、主催	北海道大学体育会、東北大学学友会体育部、東京大学体育会、 名古屋大学体育会、京都大学体育会、大阪大学体育会、九州大学体育総務委員会
3、主管	名古屋大学体育会 名古屋大学体育会卓球部
4、参加大学	北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学
5、大会期間	令和5年9月14日から令和5年9月18日
6、開催会場	未定
7、参加資格	1　競技種目に参加する競技団体に所属する学生は、エントリー書類に必要事項が記載されていなければならない。 2　正式種目の本戦に出場する選手は、本大会に参加する大学に所属し、当該大学に入学してから4年以内の学生でなければならない。但し、競技種目会議が認め、実行委員会が定める期限までに当該競技種目の種目委員から実行委員会へ報告があった場合、この限りではない。 3　前項の規定にかかわらず、実行委員会は、競技種目会議が行った正式種目の本戦に出場する選手の認定について、これが不適当と判断した場合、運営委員会の議決を経て取り消すことができる。
8、大会形式	男女団体戦、男女シングルス、男女ダブルスを行う。
9、試合形式	1. 団体戦 男子は6単1複、女子は4単1複で行う。全試合5ゲームズマッチで行う。 2. 個人戦 男女シングルス、ダブルスをトーナメント形式で行う。全試合1本5ゲームマッチとする。

10、競技規則	現行の日本卓球ルール及び同細則を適用する。特別事項は以下の通りである。 （1） 男子団体戦において、ダブルスを組む選手の一方しか1，2，3番に出場できない。また、女子団体戦において、ダブルスを組む選手の一方しか1，2番に出場できない。なお、女子団体戦において、チームの人数が3人の場合は1番を、2人の場合は1番と2番を棄権とする。 （2）タイムアウト制度は採用しない。 （3）審判は団体戦では相互審判、個人戦では敗者審判（第1試合の審判はコールで呼び出しをする）で行う。 （4）団体戦のオーダーは本部に提出したものを正とし、間違ったオーダーを提出、交換したチームはその試合について失格するものとする。 （5）団体戦は勝敗が決した時点で試合を終了する。
11、競技進行予定	1日目　男子シングルス・女子シングルス（進められるところまで） 2日目　男子シングルス・女子シングルス（決勝まで）　男子ダブルス・女子ダブルス（進められる所まで） 3日目　男子ダブルス・女子ダブルス（決勝まで） 4日目　男子団体戦・女子団体戦（第四試合まで） 5日目　男子団体戦・女子団体戦（第七試合まで）
12、総合順位決定法	（1）リーグ戦の試合得点が高い順に順位を決定する。 （勝：2点　負：1点　不戦敗：0点） （2）同点校が2校以上あった場合は、同点校間のリーグ戦における試合成績を抽出して順位を決定する。 （3）総合得点は、各種目の順位を以下の得点表を用いて特典に換算し、それを大学ごとに統計したものとする。但し、表の該当団体とは、当該種目に該当し、体育会に所属する運動部（以下、運動部とする）を有する大学とする。また、不参加の場合は0点とする。 1位：10点　　2位：8点　　3位：6点　　4位：4点　　5位：3点 6位：2点　　7位：1点 （4）運動部は、その部員が当該競技種目の競技細則に定める競技の成立に必要な人数を満たさない場合は、参加不能団体とする。また、運動部が特段の事情により参加できない場合、委員長会議がこれを認めたものについて同様とする。 （5）不慮の事態により、正式種目の順位を決定することが出来ない場合、委員長会議が認めるものについては、当該正式種目に参加した運動部の所属する大学の得点を1点とする。
13、表彰	（1）団体成績第1位から第3位までの大学に賞状を授与する。第の大学には優勝杯を授与する。 （2）シングルス、ダブルス成績第1位から第3位までの選手に賞状を授与する。 （3）各賞の選考基準は以下のようである。 ・敢闘賞：団体戦、個人を通じて最も活躍のめざましかったもの（男女各1名） ・新人賞：令和5年度入学で団体戦、個人戦を通じて最も活躍のめざましかったもの（男女各1名） ・殊勲賞：最も活躍がめざましかったもの（団体戦非出場者から1名） ・ゼッケン大賞：観客の目を釘付けにするようなゼッケンまたはコスチューム、パフォーマンスをしたもの（1名）

１４、MVP決定方法	各大学の七大戦委員の話し合いによって決定する。

			競技番号＿＿＿＿＿＿	
第62回全国七大学総合体育大会				
競技要項				
競技名＿＿＿＿＿＿				
			令和　　年　　月　　日	

1、大会名称	第62回全国七大学総合体育大会 ○○の部
2、主催	北海道大学体育会、東北大学学友会体育部、東京大学運動会、大阪大学体育会 名古屋大学体育会、京都大学体育会、九州大学体育総務委員会
3、主管	東京大学運動会○○部
4、参加大学	北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学
5、大会期間	令和4年9月1日()から令和4年9月3日()まで(3日間)
6、開催会場	東京大学キャンパスグラウンド
7、参加資格	1　競技種目に参加する競技団体に所属する学生は、エントリー書類に必要事項が記載されていなければならない。 2　正式種目の本戦に出場する選手は、本大会に参加する大学に所属し、当該大学に入学してから4年以内の学生でなければならない。但し、競技種目会議が認め、実行委員会が定める期限までに当該競技種目の種目委員から実行委員会へ報告があった場合、この限りではない。 3　前項の規定にかかわらず、実行委員会は、競技種目会議が行った正式種目の本戦に出
8、大会形式	(1)団体戦はリーグ形式の総当たりにて行う (2)個人戦はトーナメント形式にて行う。 (3) …
9、試合形式	(1)予選リーグは一試合○分、決勝トーナメントは一試合○分にて行う。 (2)一試合○点マッチにて行う。なお、同点になった場合は○○を行う。
10、競技規則	(1)競技規則は「○○」の規則を適用する。 (2) …
11、競技進行予定	9/1()　9:30～　一試合目開始　○○VS○○ 10:30～　…

１２、総合順位決定法	(1)個人戦は一位○点、二位は○点、…の点数をつける (2)団体戦は一位○点、二位は○点、…の点数をつける (3)最終的な総合順位は各大学の総得点にて順位付けをする。
１３、表彰	(1)個人戦ではベスト8までの選手に賞状を授与する。 (2)団体戦は一位から三位までの大学に賞状を授与する。
１４、MVP決定方法	MVPは、個人成績1位の〇〇のポジションの選手とする　など